

2020 年下半期もろもろ

JM1LZT 富山俊一

コロナ騒ぎに終始した 1 年が終わろうとしています。「普通の日常」のありがたみを、嫌というほど再認識させられた年の終わりです。

そんな状況下ではありましたが、大バカ野郎な私は、緊急事態宣言が解除されて以降、少なからず移動無線活動を「やってしまい」ました。「いち社会人としての根本的な反省を含む」、下半期の総括です。

昨年につき、今年も「移動してコンテスト」な日々でした。

上半期(6 月まで)ALL JA、東京コンテストは自宅からの参戦としたものの、緊急事態宣言が解かれた 7 月以降は 6m and down、XPO、全市全郡、東京 CW と去年以上に移動してコンテストの日々でした。

前号にも書きましたが、6m and down には、35 年ぶりぐらいにマルチオペで栃木県

日光から参戦し、つい先日全国 2 位という「嬉しい誤算」ともいえる結果を手にする
ことが出来ました。

その後、9 月の XPO では前から検討対象だった千葉県鴨川市の山奥からエントリ
ー。飛びの良さに手応えを得、10 月の全市全郡で使う気満々に。しかし残念ながら、
昨年同様実にいいタイミング(?)で台風が来てしまい、房総半島への暴走移動は断念。
結局、全市全郡は八王子市内の小高い場所からとなってしまいました。台風に阻ま
れてしまった鴨川については、いつか必ずや JARL のコンテストで使おうと、今も虎視
眈々と狙っています。

全市全郡で使った八王子の小高い場所は、2 週間後の東京 CW でも使用し、そ
れなりの手応えがあったので、今後も何らかの形で使うことがありそうです。本気でコン
テスト移動をやろうとすると、どうしても北関東辺りを考えがちな私でしたが、灯台下暗
し、八王子もダテに山に囲まれているわけじゃないと再認識しました。

この原稿を書いている時点で、年内の残るエントリー予定は多摩川コンテストのみ

です。昨年悲願の優勝を手にした、私にとっては「大変重い」コンテストです。傲慢にも二連覇を狙っていますが、さてどうなることやら^^;

10月に240のみなさんと記念運用した思い出の地で「CQ コンテストお〜」をやります。

コロナを巡る状況は予断を許しません。もちろん一日も早い問題の解決を望んでいますが、「人と接しない山奥無線なら許されるよな」と、半ば無理やり自分に言い聞かせながら、移動運用をしていた今年の自分を、もう一度冷静に振り返り、来年の行動指針を決めていこうと思っています。

「アマチュアは良き社会人であること」というアマチュアコードが、こんなに心に響いた年はありませんでした。